



発行人
国東高校伊予野丘
同窓会
〒873-0503
大分県国東市国東町鶴川617-4
TEL 0978-72-0143
TEL 0978-72-0607
(事務局長 堤 康二郎)



大分県立国東高等学校伊予野丘同窓会が、5月27日(土)ベイグランドホテル国東に於て盛大に開催されました。ご出席は119名の同窓生でした。総会は12時30分に秋国良二副会長(高校18回生)の開会のことばに始まり、福田榮同窓会長(高校12回生)あいさつに続き、同窓会顧問団を代表され三河明史国東市長(高校19回生)に国東市のご報告を兼ねてごあいさつ頂きました。続いて清末壽二現大分県立国東高等学校教頭(高校37回生)からごあいさつと高校の現況の説明をいただきました。引き続き、豊田信敏元校長(高校21回生)を議長に選出して議事に入りました。堤康二郎事務局長(高校31回生)から平成28年度事業報告、会計報告があり、溝部昭一監事(高校11回生)による監査報告に続き、平成29年度の事業計画、予算が上程され承認されました。



⑥宮本季生氏(高校10回生) ④小田託司氏(高校9回生)



糸永 光氏(中学22回生)の乾杯

いよいよお待ちかねの懇親会にうつりました。懇親会では小田託司氏(高校9回生)の相撲甚句などで盛り上がり、歓談の輪が広がった中、時が流れ閉会の時を迎えました。その後、有志約20名が田深の川口屋で二次会を行い、同窓生の親交を深めました。(文責 高校18回生 秋国 良二)



アンサンブル太陽



平成28年度 伊予野丘同窓会親睦旅行

平成28年11月3日研修旅行に24名が参加、アストを出発し北九州の京都郡苅田町を目指しました。高速道路を降りて広大な敷地の日産九州工場に到着しましたが、工場では、ゲストルームで工場等の概要説明を受け、早速見学に入りました。最初は背丈ほどの鉄板ロールでしたが型抜きされ、自動車のシャーシーやボディとなり、ドアやダッシュボードが取り付けられ、鮮やかな塗装が終わると完成試験と流れていきました。日産の最新工場ではロボットが

でき無いところだけを作業員が行う体制で新鋭工場との事でした。1日に2400台が生産され殆どが海外に輸出と聞いて日本の凄さに圧倒されました。また、ショールームではガソリンの要らない最新の電気自動車が展示してあり、参加者はボンネットの中がどうなっているのか興味津々に覗き込んでいました。

お昼は下関市で有名な海鮮所で鯖酒を戴いて親睦を深め、楽しい研修旅行が終了となりました。自己負担は1人4千円なのですが、参加された方には大変好評で、中身が濃い楽しい研修旅行でした。



同窓会長	福田 榮	姫島支部長	須賀 祥喜
副会長	木戸 昌夫	国見支部長	須賀 祥喜
監事	溝部 昭一	岐部 靖弘	
事務局長	堤 康二郎	来浦支部長	北島 一利
広報	國廣 秀光	富来支部長	宮本 季生
会 計	猪部 敬彦	川北支部長	井村 義幸
顧問	秋吉 忠雄	川南支部長	鶴田 馨一郎
	岸本 千年	上国崎支部長	参 一如
	見初 稔	豊崎支部長	岡 直樹
	吉武 快一郎	旭日支部長	山本 泰光
	森本 寛尔	武蔵支部長	徳丸 憲士
	魚返 敬之	安岐支部長	野田 忠治
	小野 弘利	杵築支部長	清原 洋一
	大土井 政臣	別府支部長	郷司 義明
	藤本 昭夫	大分支部長	田口 正高
	野田 侃生	福岡支部長	竹田 豊
	三河 明史	大阪同窓会長	萱嶋 時信
	豊田 俊一	東京同窓会長	吉武 考三郎

総会は5月第4土曜日 各支部長に連絡してください

民主主義の落とし穴

伊予野丘同窓会会長 **福田 榮**
(高校12回生)



オウム真理教が上九一色村から熊本のある村に集団移転を計画したとき、村長は強硬に受け入れを阻止し、事なきを得た。人口1,500人にも満たない村に2,000人近くもの信者が移住すれば、教祖が新村長に選ばれるのは火を見るより明らかであったからである。

民主主義社会が好ましく機能するためには、民一人一人が自立していることが求められる。特定の考えや方向にマインドコントロールされては、思わぬ結果を招いてしまう。

沖繩では、ともに反日、反基地、親中に偏った二大新聞に煽られた県民は現知事を選んでしまった。彼は那覇市長時代に福岡市にある中国領事館員の訪問を度々うけたからか、那覇港から県庁に通じる道路には、一体、誰をお迎えするつもりか、龍柱(竜が柱を昇る様を表した石碑)を設置した。当時支給されたふるさと創成資金を使い、中国の業者が建てたそうである。

さて、世界に目を向けると大方の予想に反してイギリス国民はE

U離脱を決め、アメリカではトランプ氏が大統領に選ばれた。一時的な衝動からか、必然的な現象であるのか、今しばらく推移に目が離せない。

さて、我が国はどうであろうか。憲法前文には「日本国民は…政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることがないやうにする

ことを決意し…」として国民と政府が対立して憲法改正はおろか法案などが決まり難い仕掛けがあり、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しよう」と決意した」として国の平和や安全を他国依存体質にし、そして例の第9条である。皆さんお気づきと思うが、これには「俺(米国)が核の傘で守つてやるからな。ついでにお前の国は無くなっても良い。」という枕詞が隠されている。

その米国が世界の警察官を降りて内向き志向となり、加えて隣国の異常な軍備増強と領土的野心、そして核・ミサイルの脅威が増してきているのが昨今の我が国を巡る情勢である。

当然、自らの国は自ら守るべく

抑止力としての軍備を増強して国境の守りを固め、憲法も実状に合わせて改正するのが普通の国の対応だと思ふ。

ところが、そうではない人達がいる。所謂護憲リベラル派と称する人達や有力メディアである。憲法改正、まかりならん。第9条をノールベール平和賞に。軍備増強必要ない。南京大虐殺や従軍慰安婦で中国、韓国に迷惑をかけたので謝り続けなければならない。その他、諸々。国連にまで出向いて、日本を貶めるロビー活動を執拗に行ったり、隣国に行つて被害者と称する人を捜しだし、訴訟を勧める弁護士等もいる始末。

これらは、戦後のGHQが日本人洗脳工作のため新聞報道に課したプレスコード(日本に与うる新聞遵則)に見事に沿つている。つまり、彼らは今だにGHQのマインドコントロールを脱していないのではないか。

これでは、いつまで経つても日本再生を妨げる勢力が出て来ることになる。いい加減に目を覚まさない、尖閣だけでなく、沖繩・九州・対馬、北海道などを失ない、2700年近くの歴史を誇るこの日本を失う羽目に成りかねない。

(平成29年6月)

東京同窓会会長に就任して

東京支部長 **吉武 考三郎**
(高校25回生)



今般、国東高校東京同窓会第16代の会長となりました「吉武考三郎」と申します。富来中学校区の大恩寺出身です。

さて、先般6月24日(土)に開催された東京同窓会は、記念すべき第60回総会となり、昨年の80名から110名に参加者も増え、盛大に開催することができました。実は、最近大分県の他校の在京同窓会に来賓として出席する機会があり、興味深く運営方法や参加者数などをチェックしているのですが、明確に回数を表示している高

校は殆どなく、我が同窓会の60周年の重みを、改めてひしひしと感じた次第です。

歴史をひもときますと、東京同窓会は昭和28年に6名の参加で第1回総会を開催しており、そこから今年の60回に至ったわけです。この歴史と伝統は大変重く、私たち役員には重圧となつてのしかかつてきますが、その昔、国東の地から勇躍関東地区に乗り込んできた諸先輩が、国東高校という絆を大事にし、母校・後輩の活躍を祈つて、そして郷里への思慕の念を胸に抱いて、この同窓会を設立

されたという事実を重く受け止めねばならないと感じています。そのためにも、この本場に伝統ある「東京同窓会」を決して衰退させることなく、末永く続けていくことが使命であると確信しています。この方針には一点の曇りもありません。

ただ、世の常として、同窓の絆は弱まりつつあることも確かです。我々の年代を含めそれなりに年を経たOBは、18歳までしか生活しなかつた故郷や国東高校のことが懐かしく、そして忘れられずに、もつと結びつきたい、関係を保ちたいと、同窓会活動にも理解を示してくれる方が多いのですが、一部のOBの方やまだ若手の同窓生は、逆に郷里との関係が負担になつたり、公私の多忙さもあつたりで、なかなかその気になつてくれず、各種行事への参加者は伸び悩んでいるのが現実です。

ところで、他校の例を述べますと、大変驚くことに竹田高校は今年245名を動員。また高田高校も180名強と、両校とも最高記録を更新しているのです。若手が

生き方の手本は偉人にあり

広報係 **猪部 敬彦**
(高校22回生)



私は、平成24年4月に退職後、地元成仏で野菜作りの傍ら、福岡市の『(株) 寺子屋モデル』という会社の手伝いとして、福岡県・熊本県のいくつかの幼稚園・保育園で偉人伝(偉人の語り聞かせ)をしています。私が小学校教員として約40年間弱の経験でも、『人を育てる上で、偉人に学ぶことほど大切なことはない』と実感しているからです。

実は、私には若い時から疑問を持ち続けたことがあります。それは、『道徳は役に立たない、何でもこんな無駄な授業をするのだから』ということでした。どんな道徳の先進研究校の授業を見ても、その気持ちは無くすことが出来ませんでした。全く心に響かないのです。むしろ、こんなことをしている

と表裏のある人間を育ててしまふのではないかと、この疑念をなくすことができませんでした。その一方で、小学校時代無類の本好き・読書少年だった体験から、伝記・ノンフィクションは、まず間違いなくどれも面白いという結論を得ていました。勿論、創作でも夢中になる本は多いのですが、

ただフィクションの場合は、当たり外れがある、但し名作と呼ばれるものはやはり面白い、という実感があります。

面白いというのは、感動するということであり、これから大人になつていく上で様々な困難に直面する子供達にとつて、手本となる素晴らしい(苦難の)人生を歩いた先人に感動させることは、欠くことのできないことだと考えます。ちなみに、現在の多くの小学校図書館では、私の体験上一番面白くない幼稚なフィクションの本が一番多い、つまり、偉人伝記の大切さが学校現場で理解されていない、と感じています。

そうした中、偉人伝の大切さを理解され、実践されている寺子屋モデルの山口秀範社長に出会い、その人生をかけた行動に感動し(私は、社長のことを「今を生きる偉人」と、勝手に手伝いをさせて貰っています。

偉人(の生き方)に学ぶ大切さが日本中で理解される日を夢見て、今後も出来る限りのことをしていきたいと思つています。

少ないことは共通ですが、何とか老若男女のバランスを取ろうと涙ぐましい努力も続けているようにでした。

私自身としても、この2校の同窓会運営には相当刺激を受けました。我が東京同窓会もまだまだ工夫すべきことがあるようです。人が集まれば良いというものでもないとはいえますが、同窓会活動に身を置く限りは、一つの目標として「多くの参加者に同窓の楽しい集いの場を提供する」ことは避けて通れません。国東の地から見ても、「東京同窓会はすげえのう。よう頑張つちよるわえ」と言われるように、微力ながらも努力していきたいと思つております。なにとぞ、本部の皆様のご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



伝記・ノンフィクションは、まず間違いなくどれも面白いという結論を得ていました。勿論、創作でも夢中になる本は多いのですが、

